1. 運転または建設中の発電所(設備容量 運転中:13基計 1128.5万kW、建設中:1基計 28.0万kW)

項目		現状	稼働率(%)		発電電力量(億 kWh)	
発電所名			平成 16 年度	運開後累計	平成 16 年度	運開後累計
	4 🗆 🖽	\Z±-+	100.9	66.4	5.3	710.0
日本原子力発電㈱	1 号機	運転中	100.0	69.2		
			102.1	82.8	17.3	1454.7
敦賀発電所	2 号機	運転中				
			100.0	83.1		
核燃料サイクル開発	機構	性能試験中	(H7.12.8 中間熱	执办场哭 <i>(C</i>) 二次玄	出口配答からの士ト	ロウム湯えいに伴い
京本協は医刑婦士 / 10		(事故停止中)	,			
高速増殖原型炉もんじゅ				户手動停止。) 【	F 4	5.4.0.0
	1 号機	運転中	103.3	51.1	5 . 1	510.0
	. 51%	2174	100.0	53.7		
関西電力㈱		\ 	101.4	61.0	7 . 4	851.0
美浜発電所	2 号機	運転中	100.0	62.7		
关 <u>从</u> 元 电 ni			1 0 4 . 0	75.1	12.6	1495.1
	3 号機	運転中				
			100.0	76.3	4 = 4	1.67.5
	1 号機	定期検査中	101.0	64.6	17.4	1675.8
	אור י	(H16.6.4~8月中旬)	100.0	65.7		
	C [] +#	\B+- +	102.4	71.4	17.6	1801.2
関西電力㈱	2 号機	運転中	100 0	72.4		
155 E 25 (161)			100.0	88.2	5 . 4	1136.4
大飯発電所	3 号機	定期検査中				
	22	(H16.4.20~未定)	3 1 . 1	88.5		
			102.3	86.2	17.7	1009.9
	4 号機	運転中				
			100.0	86.3	2 0	1 4 1 2 0
	1 号機	定期検査中 (H16.4.11~7月中旬)	17.0	66.1	2.0	1413.8
	3 !/~	(-120, 112, 173 20)	16.5	67.4		
	2旦機	第七十	104.2	67.1	12.6	1387.9
関西電力㈱	2 号機	運転中	100.0	68.7		
高浜発電所			103.3	84.6	13.2	1249.0
间供光电机	3 号機	運転中				
			100.0	84.8	13.2	1234.6
	4 号機	運転中	104.0	0 3 . 2	13.2	1234.0
			100.0	85.5		
		Δ ±1	88.9	72.7	1 4 6 0	16145 5
		合 計	92.2	71.4	146.9	16145.5
			3 Z . Z	, , , 4		

(注) 稼働率は平成16年5月末現在、累計は営業運転開始以降。

2. 運転を終了した発電所

項目	現状	稼働率(%)	発電電力量(億 kWh)	
発電所名		S54.3.20 ~ H15.3.29		
核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん発電所	廃止措置準備中	62.2	2 1 6 . 1	
(16.5万kW)	– , ,,,,	63.8		

発電電力量

認可出力×暦時間

発電時間

(上段)設備利用率=

×100 (%)

(下段)時間稼働率=

×100 (%)

3. 各発電所の特記事項(平成16年5月11日~6月3日)

発電所名	特記事項
大飯1号機	第 19 回定期検査 (H16.6.4~8 月中旬)
	・発電停止 (H16.6.4 0:00)
大飯3号機	第 10 回定期検査(H16.4.20~H16.6 月下旬)
	・発電停止 (H16.4.20 0:00)
	「原子炉容器上部ふた制御棒駆動装置取付管台からの漏えい」
	・定期検査中の5月4日、原子炉容器上部ふたに取り付けられてい
	る管台 (70 箇所) のうち制御棒駆動装置取付管台 1 箇所 (No.47)
	の付け根付近に白い付着物を発見。
	・また他の管台(69 箇所)を点検したところ、新たに原子炉容器
	温度計測用素子ハウジング管台 1 箇所(No.67)の側面や付け根
	付近に付着物を確認。
	・現在、詳細調査を実施中
	〔記者発表済 (H16.5.6)〕
	「燃料集合体漏えい検査結果について」
	・運転中の2月 25 日、1次冷却水中のよう素濃度が通常値を僅か
	に上回る値であることを確認。燃料集合体に漏えいの疑いがある
	ものと判断し、その後監視を強化して運転を継続した。
	・定期検査において、漏えい検査を実施した結果、燃料集合体全数
	(193 体)のうち、1体に漏えいが確認され、超音波による漏え
	い燃料棒の特定を行った結果、漏えい燃料棒1本が確認された。
	・漏えいの原因は、当該燃料棒に偶発的に発生した微小孔(ピンホ
	ール)によるものと推定された。
	・今後、当該燃料集合体は再使用しない。
	・燃料集合体外観検査において、漏えい燃料集合体以外の3本の燃
	料集合体下部ノズル部に異物が確認されたことから、異物を回収
	し調査を行うこととした。 (添付資料2)
= 1. 4 D 1.44	〔記者発表済(H16.5.12)〕
高浜1号機	第 22 回定期検査 (H16. 4 .11 ~ H16.7 月中旬)
	・発電停止 (H16.4.11 1:00)
高浜4号機	「B直流電源の一時的な喪失について」 (添付資料1) ・空期投本関係 トラブリ関係

: 定期検査関係、 トラブル関係

4.燃料輸送実績(平成16年5月11日~6月3日)

<新燃料輸送>

美浜3号機	・新燃料集合体 12 体を受け入れ(5月 14日)
	・新燃料集合体 12 体を受け入れ(5月 19 日)
大飯 1 号機	・新燃料集合体 30 体を受け入れ(5月 11日)

<低レベル放射性廃棄物輸送>

美浜発電所	・青森県六ヶ所村の日本原燃株式会社低レベル放射性廃棄物埋設セ
	ンターへ充填固化体 1440 本を輸送(5月 29 日)